

令和4年度地域医療構想説明会  
兼第1回根室保健医療福祉圏域連携推進会議・  
根室圏域地域医療構想調整会議議事録（概要）

日時 令和4年（2022年）8月31日（火）13:30～15:30

Web（Zoom）開催

出席者 36名（内 事務局14名）別紙出席者一覧のとおり

- 議題
- 1 地域医療構想等に関する説明会
  - 2 医師の働き方改革について
  - 3 根室圏域の状況について
  - 4 質疑応答・意見交換
  - 5 北海道医療計画根室地域推進方針の進捗状況について
  - 6 医療機器の共同利用計画について

議事

（1）地域医療構想等に関する説明会

北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課から資料説明（竹内課長補佐）。

（2）医師の働き方改革について

北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課から資料説明（金須医師確保担当課長）。

（3）根室圏域の状況について

事務局から資料説明（芳浪企画主幹：根室保健所）。

（4）質疑応答・意見交換

ア） 公立病院経営強化プラン策定に向けたスケジュール、医師の超過勤務の実態、働き方改革に向けた動きなどの現状について、参加医療機関から発言を受け、情報共有。

イ） 病床機能の分化・連携に関しては、新型コロナウイルスの影響により地域医療構想調整会議の書面開催が続いたこともあり、圏域における議論が進んでいないことから、議論の場を設けていくことを確認。

ウ） 釧路圏域との連携について、根室圏域の受療動向においては、入院、外来ともに釧路圏域への流出が多く、特に入院については約7割を釧路圏域に依存している状況にあることから、圏域間における協議も必要であることを共有。

エ） 北海道医師会副会長・佐古地域医療構想アドバイザーからの助言

まずは、地元で絶対残す医療機能、診療科、この優先順位をつけて、足りない部分は釧路の中核病院との遠隔医療による診療体制整備が現実的な解決策ではないか。今無いものをどうするかという面での努力も必要だが、今あるもので、どうするかを考えて欲しい。

また、釧路・根室圏域の地域医療情報連携ネットワークである「メディネットたんちょう」を遠隔医療に活用し、救急のトリアージ中核病院とリアルタイムに患者さんの情報交換をして指示を仰ぐなど、地元で診られるものは地元で診る、緊急搬送が必要なものは釧路に送っていただくなどの連携を強め、お互いの病院の機能分担と連携を強化することを是非検討願いたい。

（5）北海道医療計画根室地域推進方針の進捗状況について

事務局から資料説明（遠藤企画主幹：中標津保健所）～質疑なし

（6）医療機器の共同利用計画について

事務局から資料説明（遠藤企画主幹：中標津保健所）～質疑なし

以上